

# 一歩

## 話を聞く「集中力」「真剣さ」「我慢」

昨日、総合学習で進路についての肥田野先生から話をさせていただきました。進路学習で話を聞いた1時間、話を聞く「集中力が続かない」「我慢できない」生徒が多くいました。寝ている生徒、私語する生徒が多くいました。

寝ている生徒に対して、どのような対応がみなさんにとってベストなのか悩んでしまいます。

### その1 寝ている生徒はどうする? 「起こす」「寝たまま」

寝ている生徒を起こさず、話を続けることはできます。100人以上の生徒に対して、今回のように一人が話をするとき、何人もの生徒が寝ていたら、話の中で「がんばれ」と声かけはできますが、一人一人の席まで行って起こすことは難しいです。あちこちにいる複数の生徒のところへ行くことは、話を中断しなければいけません。寝た子を起こすことが優先するのか、話を続けることを優先するのか選択しなければいけません。



### その2 保護者の立場、生徒の立場、教師の立場

寝ている生徒をどうするかは、立場によって考え方も違ってくるのではないのでしょうか。もちろん、どの立場でも「起こした方がよい」が、まずすべきことであることに異論はないでしょう。しかし、起きる気がなく何度も声をかけなければいけない場合や、起きたらイライラの感情を周りに出す生徒の場合はどうでしょうか。

保護者であれば、「自分の子」が寝ていたら、どのような場合でも「起こして授業に参加させてほしい」と思うことでしょう。「授業を受ける＝学習を受ける」権利があるのですから。

一緒に授業を受けている生徒の思いはどうでしょうか。寝ている生徒が起きないために授業が止まる、進度が遅れる、イライラをぶつけられるようであれば、起こさず「寝たままできてくれた方がよい」と思う生徒もいることでしょう。起きる気持ちが見られない生徒であれば、なおさらです。自分の学習を邪魔されることを避けたい、学習に集中して取り組みたい気持ちからの考えで、それも理解できます。全員が「学習を受ける権利」があるのですから。

保護者にとっても、自分の子ではなく、他人の子が寝ていたらどうでしょうか。自分の子が寝ているときと同じく、絶対「起こしてほしい」と思うのでしょうか。起こしたら近くの席の自分の子にイライラをぶつける子であったり、授業の雰囲気悪くする子かもしれません。

教師の立場では、「起こさなければいけない」が当たり前です。大形中学校の先生たちは、授業に参加しない生徒を放置しておくことはありませんが、いつまでも寝ている生徒にかまっていられない現状もあります。全員の生徒に3年間で終えなければいけない学習内容は決められています。寝ている生徒にばかり時間を割くわけにはいけません。先生は「寝ている子を起こす」ことも「授業内容を計画通りに終わらせること」も、どちらも絶対にやるべきと言う方もいるでしょう。それが正論です。しかし、起きる気持ちのない生徒にいつまでも時間を費やせば、先生たちは夏休みなど長期休業中にクラス全員を対象に授業(補習)を行うなどで学習時間をつくらなければいけません。もちろん、対象クラスの生徒は、全員が参加しなければいけません。



### その3 寝ている生徒、私語をしている生徒への進路情報取得は本人任せ！？

寝ていたのは「進路についての話が難しかったのかも」と、このようなたよりの文章上では、オブラートに包んだ表現から話を進めればいいのかもかもしれません。しかし私語をしていた生徒は、授業開始直後から私語をしていました。話を聞く気持ちが0(ゼロ)とは思いませんが、進路情報を得ようと話を聞く「集中力」「意欲」が最初から欠けているように感じます。



中学3年生になると、塾などで進路情報を得てよく知っている生徒もいれば、進路についてほとんど知らない生徒もいます。その差が大きいのが現状です。私語をしている生徒は、自分が知っているから私語をしているのであれば、あなた自身は困らないでしょうが、話をしっかり聞きたい周りの生徒にとっては迷惑な生徒です。進路についてよく知らない生徒が、私語をして話を聞かないのであれば、進路に対して「真剣さ」や「意欲」が欠けているか、進路を「甘く見ている」かのいずれだろうと思われても仕方ありません。

プリントなど印刷物に書いてある進路情報は「読んでおきなさい」で済ませてよいものであれば、配付して終了でかまわないのですが、説明をした方がよい情報については先生たちが「話す」という方法を加えることでより確実に伝達しようと努めています。

ずっと私語をして話の内容を聞き逃す生徒、寝ていて情報を聞かない生徒は、プリントを読むなど自分で情報を取得することができるのでしょうか。これまでの生徒を見てみると、そういう生徒に限って、間際になって「なんとかしてほしい」と慌てふためいてしまうケースが多いのですが・・・。

### その4 寝ている生徒・・・今の学習態度が、入試の「不合格」に近づく！？

授業中に寝ている生徒は、体験入学や入試で寝ないのだろうかとか心配になります。そういう生徒に限って「(よくないことは)本番でやらない」と言います。日頃の寝る姿勢を直そうとしない生徒が、体験入学当日や入試当日だけできるのかと、不安になります。



昨日の総合学習の後に清掃がありました。Yシャツ姿のまま清掃する生徒がいました。着替えるように言うと「腰が痛い」と言います。できることであってもそれらしい理由をつけて、いかにも正当なような態度で話します。肥田野先生が話したとおり、中学校では高校への調査書(通称「内申書」)に「嘘は書けません」。やらなければいけないことをできないのであれば、できないほど重症である理由を高校に伝えなければなりませんし、嘘をつくような生徒であればその旨をお伝えしなければいけません(「嘘をつく」生徒という表現では伝えません)。少なくとも、「健康」で「きちんと行動できる」生徒という評価はできません。

これまでのようすから、調査書にある各教科の「関心・意欲・態度」の観点に「C」評価が付いた生徒を高校が不合格とする高校が多いようです。

高校もきちんと学校生活に取り組める生徒をほしがっていると思われます。「関心・意欲・態度」に「C」評価が付いている生徒に入試で目を向けるのは当然でしょう。高校入試は「選ぶ試験」です。受験生は、受験する高校を選べますが、高校は受験生の調査書や受験当日のテストやようすから合格者を選抜します。日常の生活態度、学習態度から見直し、よりよい状態にしていくようにしましょう。

観点	評価	評定
関心・意欲・態度	B	3
思考・判断	A	
表現・処理	A	
知識・理解	B	

ここが大事!

## 進路だより 阿賀野川

本日、進路だより「阿賀野川」が発行されています。来週月曜日、火曜日に締切の体験入学の高校もあります。必ずもらったらすぐ目を通す習慣を付けてください。